

会議録

会議の名称	第7回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年6月26日（木）午後7時00分から
開催場所	新城市役所4階会議室
会議の次第	1 委員長あいさつ 2 検討 (1) 討論の方法（1人） (2) 政策シート (3) 当日の来場者ルール (4) 説明会資料 (5) 推薦委員加入後のルール 3 その他 (1) キッチンカーの経過報告 (2) 選挙への意識の向上 (3) 広報の方法
欠席委員	加藤広斗委員、木戸委員、山田委員、河合委員

1 あいさつ

事務局から簡単なあいさつを行い、続いて委員長から開始のあいさつが行われた。

2 検討

(1) 討論の方法（1人）

委員長	それでは検討(1)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 1人開催の場合について、4年後への影響や市民への情報提供としてより良い開催内容は何かということを考えて検討をしたい。 ・ ○×方式と口頭での回答方式は複数人の場合と同様にあり得るが、当事者同士の討論という選択肢はないため、そういった形を想定すると第三者にパネリストをお願いするか実行委員会で討論相手になるかという選択肢になる。 ・ 複数人開催よりも事前準備が多く必要になる。1人が長時間話すこととなり単調になるため、工夫が必要と思われる。パネリスト又は実行委員会を相手にしての討論の場合もあるが、パネリストの場合は、立候補予定者が確定していない段階で、その人の当日の発言に対して批判が出る可能性もあり、その役を受けてもらえる適役の方を探すことが困難に思う。実行委員会の場合にも同様に批判のリスクはある。 ・ 市民からの質問を増やすような形での運用もあり得る。
委員長	ありがとうございました。 1人開催になった場合の内容のベースとなるものを検討しておきたいと思います。
委員	実行委員会の中で完結しておいた方が良いでしょう。 誰かと1対1の形のみとすると単調になることが想定されますので、実行委員会も数人が○×に参加するような、質問形式も数人が参加するようなものが良いのかと思います。少しアドリブのような形が入りますが。
委員	外部からはない方が良いでしょう。

委員	どうでしょうね。
委員長	討論会で1人ということは通常ないですからね。
委員	それなりの知識がないと討論の相手になることはできません。安心して任せられる相手となると。
委員	数人が立候補をすとしても、討論会に出ない選択をすることもあります。この案件をここであまり悩んでも仕方ないとは思いますが、もしそうなったときはそこから必死に作り上げることになるのかなと思います。
委員長	そうですね。今日はベースとなる方向性くらいのつもりです。時間が迫った段階での選択は失敗しがちですので検討をしておきたいというところです。
委員	人数の確定は、いつでしたか。
事務局	最終的な確定は1週間前です。
委員長	早めに複数人が出てこなければ、1人開催の可能性を考慮し続ける必要はあります。
委員	出ない可能性は高いですか。
事務局	噂は複数人聞いていますが。立候補しようとする人は出てくれるのではないかと考えています。前回はお二人とも参加してくれました。
委員長	難しいですね。奇抜なことはせずに、単調さをなくせるようにどのように工夫できるかというのが現段階でのところかなと思います。

(2) 政策シート

委員長	それでは検討(2)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 8年前も4年前もテーマごとに政策シートを立候補予定者に作成してもらい、8年前には来場者に配布し、4年前にはホームページに掲載し、事前に読むことで討論の理解を助けるものとした。 ・ 今回も採用をするべきか、採用する場合には記載のルールをどの

	ようにするか。 ・ 4年前はA4用紙1枚で、文字のみに限定をして、様式、フォント、文字の大きさ、文字数、行数を指定して統一した。パソコンスキルにより大きな差が出る可能性があることの是非が主な要因だった。 ・ 実施する場合には、A4用紙1枚にはしたいが、それ以外をどこまでルール化していくことが良いか。 ・ 白黒かカラーかもある。パソコン上の発色と実際に印刷したときの発色は違うため、市の印刷機で刷ったものがイメージと違うとなることが心配される。特に似た色が使われると分かりにくくなるおそれがある。
委員長	ありがとうございました。 それぞれ御意見いただければと思います。
委員	前回のものは見られますか。
事務局	市のホームページに残っています。 文字のみだとこのような感じになります。
委員	違いが分かりにくいですね。
委員長	読めば分かりますが、読み込まないと。
委員	違いが分かるといいですね。左右に並べるような。
事務局	会場では、A3にして印刷して横並びにするようなことはできます。パソコン上ではウインドウを複数開いて並べるようなことで対応できますが。スマホでは難しいと思います。
委員	表やグラフの場合に、その数字の正確性は誰が責任を持つのでしょうか。
事務局	市としては提出されたものに一切手を加えられないですので、そのまま出さざるを得ません。
委員	それは立候補予定者の自己責任ですよ。
委員長	違うようであれば、討論会の中で相手に指摘されるような可能性があります。

委員	良い的になりますね。
委員	手書きでも何でも自由に記載させて良いのではないのでしょうか。それも人となりのように思います。
委員	カラーにすると各陣営の色に染まってしまいますかね。
委員	立候補しようとする人がそんなことしますか。
事務局	本人が書くとは限らないですが。
委員	それも1つの判断要素になるかもしれません。
委員長	制限をしないこともありかと思います。少し不安ですが。 市の事業ですし、読めない文字や分かりにくいイラストが出てくる可能性もありますが、それも含めて評価の対象となります。
委員	差別的な内容や公共の福祉に反するような内容のストップはどうでしょうか。
委員長	そこに関しての注意は前回なかったですね。
事務局	前回のお二人に関してはそういう心配はありませんでしたので、そういう発想にはならなかったと思います。 心配なのは、著作権関連の方です。そこは注意事項として入れる必要はあるかなと思っています。 あくまで、討論を理解するためのサポートですので、その趣旨は理解して作成してほしいなと思っています。
委員長	公選法への抵触はどうでしょうか。
事務局	その内容については前回のルール of 注意事項に入れていました。
委員	自由にした方が良いと思います。
委員長	そうですね。現代の私たちが受け取る情報は文字以外も多いです。目的に関しては説明会で伝えるとして、枠内に収めることは前提として自由ということではいかがでしょうか。
委員長	そうするとPDFでの提出で良いですか。
事務局	Word形式等では、市のパソコンで開いたときに本来の表記とずれが出ないとは限りませんので、ホームページに掲載する際にはPDF化しますし。

委員	いじれない方が良いですね。
事務局	中身には一切触りたくないです。 前は、形式を統一したためワード形式で問題ありませんでしたが。
委員長	印刷は白黒で良いですか。 印刷の鮮明さもイメージどおりにはならない可能性も明記しておいた方が良いですね。パソコン、プリンターにより異なりますので、こちらでは責任はとれませんので。
委員	ホームページも白黒ですか。
委員長	確かに、ホームページはカラーの方が良い気がしますね。
委員	視覚情報は大きいのです。
委員長	政策を表現するときにカラーにできるかは大きな差になりますが。
事務局	オレンジ色と黄色は近くなるので、分かりにくくなるような注意事項を入れて、はっきりと違う色を使うように促せば選択肢としてあり得ると思います。
委員	色の出力は保証できませんという前提で。
委員	白黒で良いのでは。
事務局	白黒も工夫次第です。円グラフでは2色は分かりにくいですが、それを棒グラフで表せば良いです。工夫の仕方はあります。
事務局	円グラフも格子や水玉の柄で工夫できます。
委員	A4用紙1枚にイラストやグラフまで入れられますか。
事務局	そのためにすごく小さい字を選択されるのは心配です。
委員	ですが、そんなセンスのない人はダメですね。
委員	それも判断材料です。
事務局	会場はお年寄りが多いでしょうし、注意事項として挙げておく方が良いかもしれませんが。
委員長	推奨する大きさを書くようなことで良いと思います。見る側もそこに合わせてあると見やすくなりますし。
委員長	では白黒でいきましょう。

(3) 当日の来場者ルール

委員長	それでは検討(3)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 説明資料の第10の2と3に記載した来場者のルールについて、今回もこのルールは維持で良いか。また、ほかに注意事項はあるか。
委員長	いかがでしょうか。
委員	選挙カーはその時点ではないですね。
事務局	告示日前です。
委員	広報車はどうでしたか。
委員	政党のものは良かったような。
事務局	完全に強制することはできないですので、お願いレベルにはなってしまいますが。会場から離れていれば好きなようにですが。
委員長	問題なさそうですので、このままで進めようと思います。

(4) 説明会資料

委員長	それでは検討(4)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 4年前の説明会資料をもとに、現段階の検討結果で修正している。 - こういった内容で8月22日は実行委員会が中心となって説明会を行うため、目を通してほしい。 - 内容として不足があれば、次回以降で指摘してほしい。
委員長	それでは、そのようにお願いします。 ちなみに立候補予定者の方は説明会の開催を知れる状態ですね。
事務局	ホームページには出ています。それと広報紙で2回情報が出ています。一般向けではなく対象となる人が数人の情報ですので、広報の方法は悩ましいですが、討論会の開催も色々な媒体で周知をしていますし、市長に立候補しようとする人ですから、情報の把握はできるはずです。
委員	立候補はするけれど討論会には出ないという人は、推薦委員は出て

	きますか。
事務局	出てきません。
委員	反対に、参加を途中でやめた場合は出ていく形ですか。
事務局	そうなると思います。
委員長	現時点での広報で広く公共に周知はしている状態だと思います。説明会に出ていなくても参加はできますし。

(5) 推薦委員加入後のルール

委員長	それでは検討(5)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	・ 加入前にルールを決めておきたい。 ・ 各立候補予定者からは3人まで推薦することができ、少なくとも1人は毎回出席してほしい旨を説明資料に記載している。 ・ 推薦委員は立候補予定者の仲介役・調整役でもあるため、立候補予定者が2人以上いる場合には意見がぶつかることも想定される。 ・ 4年前のルールでおおむね良いかと思うが、定足数と会議の公開・非公開の部分をどのようにすることが適切か考えている。 ・ 今回は一般委員が9人となっているため、3分の2では6人、2分の1では5人となる。委員同士で委任するような形もありえる。 ・ 8年前は非公開の希望があってそうしたとのこと。 ・ 市の基本ルールは原則公開として、事情がある場合には例外的に非公開というものになっている。市での開催となった4年前は立候補予定者側の本音が出る場であることから、非公開を希望する場合にはそれに沿う形にしようとなった。その場合には会議録もその部分を除いた形で記載する想定でいる。 ・ 個人情報が出るような場合を除いて非公開としない運用も考えられるが、本音が出る場面であることに配慮して今回もこのルールを維持するべきか。
委員長	それでは、定足数と公開・非公開について、御意見いただければと思います。

委員	委任状を入れても3分の2の方が良いと思います。会の正当性としても丁寧にした方が良いです。
委員	賛成です。
委員	WEB会議システムでの参加はありますか。
事務局	4年前はコロナ禍でしたが、推薦委員が入るテーマ決めの場面では、それまでは対面していませんでしたがあえて対面にしました。Zoomは準備する予定ですが、会議の雰囲気は来ないと分からないですね。
委員	Zoomは、録画できますよね。
事務局	録画できます。ただ、会議の場でも録音はできてしまいます。
委員	Zoomだと背景を変えられますし、他の人も見ることができてしまいますね。
委員長	Zoomだとそうですね。
委員	非公開の意味がなくなってしまいます。
委員長	推薦委員の場合に制御がきかなくなる可能性を思うと、推薦委員は会議の現場に来てもらいたいですね。
事務局	それができるように3人の設定になっています。
委員長	コミュニケーションがとりにくくなってしまいますし。
事務局	機械の不調もあり得ますし、重要な場面で聞こえなかったりすると後からのトラブルになりえます。そうすると推薦委員は現場に来てもらうようにする方が良いです。それを加えますか。
委員長	それを追加しましょう。
委員	8年前は、非公開だったから、言いたいことが言えたからこそ深まった感じがしました。
委員	最初は探り合いでしたが、面白かったです。
委員	本音でできたことが良かったと思います。
委員長	それでは、このままの形でいきましょう。
委員	公開・非公開はどう決まるのですか。

委員長	形としては推薦委員の1人から非公開の話が出たらそうなるということです。
委員長	では、推薦委員は現場でということと公開・非公開ルールは今のままでいしましょう。
委員	Z o o mは禁止ですか。推薦委員の人は、ですか。
委員長	どうしましょう。
事務局	定足数との関係もありますし、各立候補予定者から3人ずつとなると一般委員の人数が負けてしまう状況が考えられます。公平・公正・中立を主とする一般委員の発言が弱くなる状況は好ましくないですので、一般委員はZ o o mありとする方が良いと思います。
委員長	そうしましょう。

3 その他

(1) キッチンカーの経過報告

ホームページで公募をしている。

(2) 選挙への意識の向上

委員	一般の方の選挙への意識を向上させていく方法はないでしょうか。
事務局	討論会の次の段階ということですか。
委員	投票率の影響も含めてどうなのかと。
委員	投票率はすごく高いですよ。7割・8割だったはずですよ。
委員	投票率だけではなくて、どこまで真剣に考えて投票をしているのかも気になります。できることがあれば良いですが。
事務局	分野としては選挙管理委員会ですので、権限の関係でどこまで可能かというところはあると思いますが、自分たちができることは討論会を良いものとする事で、それがそこにつながっていくものだと思います。 今の内容はどの市町村も抱える永遠のテーマで、劇的な解決策はないように思います。あるのであれば国も各自治体も実施しているはずですよ。

委員	まずは討論会の広報をしていくことですね。
----	----------------------

(3) 広報の方法

委員	ポスターみたいなものは用意しますか。
事務局	4年前は、ほのかと一緒にチラシを配布しました。テーマを入れて時間ギリギリでしたが間に合いました。 今回の予算としてあるものは、チラシ・ポスターの印刷と新聞折込みの費用です。テーマが決まってから刷ることを考えています。
委員	先程の話のように盛り上げていくことを考えると、開催は決まっていますのでテーマが決まっていない段階での広報を準備してはどうでしょうか。
事務局	テーマが決まる以前の周知もありだと思いますが、迷っています。 キッチンカーが来る旨を入れたいのですが、そこが固まっていないので決まった段階でいきたいとは思っています。 それであれば、新聞折り込みを使わずにほのかと一緒に回せますので。
委員	ほのかと一緒に回すのであればほのかに掲載すれば良いのでは。
事務局	そうです。少し前は、ほのかとは別にイベントごとに1枚を配布や回覧していましたが、ほのかの価値が下がってしまいますので、ほのかへの記事の集約を進めました。個別のチラシは原則として不可となっています。 ほのかについては、9月16日発行のほのかの特集ページをもらうように動いています。 そこもあって広報の仕方は悩んでいます。
委員	A4サイズのチラシを手にとってという人は少ないですが、ガラスに貼っているものは見てくれます。車で止まったときに意外と見えます。主要なお店に貼ってもらう方が良いと思います。
事務局	コンビニは前向き駐車が多いので、ガラスに貼ってあるチラシは待ち時間に意外と見えます。

事務局	テーマが決まってからの一斉の周知と事前の開催の周知はどちらが良いと思いますか。
委員	早めの事前周知です。井戸端会議の話題に挙がる状態にしておく方が。
委員長	テーマは直前に分かれば十分でしょうし、話題に挙がる方が良いです。
委員	テーマで見る・見ないにそんなに影響はないように思います。
委員	出る側に対してもその方が出る選択をする状況になると思います。
委員	新聞が思ったより影響が大きいです。
委員	記事に書いてもらうようにできますか。
事務局	日常的に市では記者への情報提供はしています。1日に、2つ、3つは情報があるイメージです。
事務局	少し前には、情報は分かったけれど、今書くには早すぎて載せられないということを言われました。
事務局	早めの周知で動こうかと思います。 先にポスターを用意して、その後、チラシを用意する時間差でいきたいと思います。
委員長	それで良いと思います。

(3) 次回の日程

7月24日（木） 午後7時から